

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、ホームが行う「あさひ鳴海夏祭り」は回覧版で地域に知らせ招待した。入居者の中には、時々自宅へ出がけ郵便物の回収を兼ねて隣近所とも交流している方もいる。日々散歩の折にも行き交う人々と挨拶を交わし、ホームや入居者を知ってもらおうと努めている。管理者は市の認知症講習会で講師も務めている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	メンバーは協力医、住民代表、ケア事業本部長、管理者、関連グループホーム管理者等であり、2か月に1回の頻度で会議を開催している。行政及び地域包括支援センターに参加を呼びかけており、地域包括支援センターの職員が次回から参加する予定である。今回初回の評価であるため評価結果はまだ市に提出していない。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	ケア事業本部長が担当窓口となり月に2～3度は市に出向き、ホームからの要請や報告、認知症の認定更新、区分変更等の手続きを行っている。疑問や不明な点があるとすぐに市に出向き、今では担当者とも顔馴染みになっている。管理者は市の認知症講習会に講師として参画している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	玄関に意見箱はあるが利用はない。管理者は苦情ではなく、「職員のいいところ」を見つけたらそれを記入してもらい、掲示板に貼り出して日頃の労に報いたいと考えている。また、家族の苦しみ分かりあえるのは家族だけであることから、家族会の開催も考えている。	×
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	×
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

訪問時には、オリンピック女子フィギュアの試合をテレビで、入居者と職員が一緒に日の丸の旗を振って声援を送る和やかな姿が見られた。管理者は、現状に満足するのではなく、高い目標設定をもって認知症介護に取り組んでおり、あせらず職員と協力して一緒に実現していきたいと考えている。施設についても自己評価の時点では「必要」と回答していたが、訪問時には対応策を考え実行されており、管理者や職員のためまね努力が感じられた。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。